

地域人材ネット

フットパスを活用した地域活性化

尾留川 朗 (びるかわ あきら)

日本フットパス協会 理事



○ 登録者情報

所在地

東京都町田市

略歴

1977年東京都町田市役所入職

2002年から企画部企画調整課副主幹、企画部企画調整課長、環境・産業部産業観光課長

2008年から経済観光部長、地域福祉部長、図書館担当部長

2009年経済観光部長のとき「日本フットパス協会」を設立

2015年退職

2015年市役所退職を機に、日本フットパス協会理事に就任

<活動> 2002年からNPO法人みどりのゆびメンバーとしてフットパス活動にかかわる 2005年から同法人理事、監事、2015年から同副理事長 2019年退任

<受賞歴> 2008年担当部長、NPO法人理事双方でのフットパスの取り組みに対して、自治体総合フェア2009「活力協働まちづくり推進団体表彰」を町田市およびNPO法人双方が受賞

著書・論文等

○ フットパスを活用した地域活性化

取組の内容

「フットパス」とは、イギリスを発祥とする“森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】”のことです。19世紀英国における都市労働者が地方を自由に歩く権利を獲得する運動を発祥としています。日本においては、環境保全活動の発展として、また、歴史や景観を楽しむ道づくりと地域の方々と地元産品を通じた交流による地域活性化策として取り組んできました。そして、これらの活動が、地域の活性化や新たな施設投資を必要としない新しい観光の有効な手段として確認できたことから、当時国内でフットパス活動を行っている自治体、NPO法人、団体、企業に声掛けをして、「日本フットパス協会」を設立しました。設立後現在までに、会員数は14自治体、46団体(企業)に及んでおり、このほかにも、フットパスを活用した地域が増えてきています。

成果も、地域の活性化、交流人口の増加、経済拡大の他に、地域の高齢者が日常生活で支援される状態から訪問者のお世話を楽しまでになられたりと、生きがいづくりにも大きく貢献しています。

また、協会設立時から英国フットパスとの連携も進めてきており、2015年2月には、英国で町の活性化に大きな成果を上げている「WaW(ウォーカーズ アー ウェルカム)」と友好協定を締結、今後英国との交流人口拡大も進めていきます。そのためにも受け入れ地域を拡大することが重要です。

私は、これまで自治体職員として、協会の設立の仕掛け人として、設立、運営に主導的な取り組みを行ってきたとともに、各地域のフットパス導入のお手伝いをしてきました。退職後も現在に至るまで、引き続きフットパス活動を通じた地域づくりの支援と会員相互間の交流支援を行っています。フットパスウォークはソーシャルディスタンス対策などウィズコロナ時代でも実施しやすい活動です。都市住民と地方の住民の交流が活発化し、お互いの顔が見える経済の拡大を期待しています。



ワークショップでのフットパスコース検討シーン



フットパスウォーク実施風景

実績

「日本フットパス協会」総会および交流会、エクスカージョンを会員地域持ち回りで開催することにより、どんな小さな町や村でも全国大会開催が可能です。

▶実績

2020年	協会設立10周年記念シンポジウム町田	約200人
2019年	兵庫県但馬大会	参加者 約300人
2018年	宮城県柴田町大会	参加者 約300人
2017年	福岡県中間市大会	参加者 約200人
2016年	秋田県由利本荘市大会	参加者 約300人
2015年	鳥取県鳥取市鳥取西因幡大会	参加者 約300人
2014年	北海道上富良野大会	参加者 約400人
2013年	熊本県美里町大会	参加者 約300人
2012年	茨城県行方大会	参加者 約100人
2011年	山形県長井大会	参加者 約300人
2010年	北海道黒松内大会	参加者 約100人

工夫した点や苦労した点

フットパス活動を始めるに際し、それぞれが力を発揮できる役割づくりや地域に隠れている価値の発見、再認識など外部の視点で支援してきました。また、活動組織づくりや組織間の付加価値を生む視点などを提案してきています。

新型コロナ発生により、2020年大分県臼杵市大会はやむなく延期となりましたが、主催自治体の努力により域内シンポジウムを開催し、他地域の方が参加できる同時ネット放映も実施しています。

引き続きVRフットパスの模索やネット交流の促進など、ウィズコロナでの施策を進めていきます。

ひとことPR

フットパス活動は大きな資金を必要とせず、楽しみながら取り組むことでかかわる方々やコミュニティを元気にします。また、地域おこし協力隊との親和性も高く、その実績もあります。まずは始めてみてください。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

日本フットパス協会	https://www.japan-footpath.jp/

連絡先

メールアドレス	billbill99〔アットマーク〕gmail.com		
---------	-----------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。